

光友会報

令和6年5月31日
第52号

発行責任者 細野 泰司
発行者 光明学園光友会
編集者 茅原田 真澄
印刷所 (南) 片野 印刷

会長挨拶



会長
細野 泰司

平成二十九年年度より、伝統ある光明学園相模原高等学校の光友会会長職を引き受けさせて頂きました。微力ではございますが、学園や光友会の益々の発展のために尽力して参りたい所存でございます。今後ともよろしくお願い致します。

さて、令和五年度の学園ではコロナ禍が明け、様々な行事が通常の形式となり再開されました。数年間、制限がされていた中で、生徒たちは様々な葛藤があったことかと思えます。しかし、そのような様子は見せることなく、活気のある学園の様子が見られ、嬉しく思います。さらに、五年度においては光友会の活動と致しまして、懇親会が再開するなど、会員の皆様との交流の場を設けることができました。皆様の元気なお姿を拝見し、光友会の活気が取り戻さ

れたことを感じる事ができ、大変うれしく思います。

また、文化祭においてはコロナ禍が明け制限のない文化祭が実施されたため、本会も展示を実施致しました。

このような活動を六年度も重ねていき、母校の益々の発展のため、組織的な強化を行っていくと共に、様々な事業を展開して参りたいと思えます。卒業生の益々のご健勝をお祈り申し上げますと共に、今後ともご理解と協力を賜りたくお願い申し上げます。

学校長挨拶



学校長
天野 雅秀

光友会の皆様には、日頃より多大なるご支援とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

令和二年度から校長に就任し、五年目となりました。微力ではござい

ますが皆様方のご支援をいただき光明学園の発展のため最善をつくし、この重責を全うしたいとお願いいたしております。今後ともご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和五年度は充実した学校活動が展開できました。海外での語学研修では文理コース二学年がカナダのバンクーバー（ビクトリア地方）でコロナ禍明け初の実施となりました。異文化を経験し、生きた英語を学ぶ上で貴重な経験になりました。

海外での研修を総合コースでも再開していきたいと考えております。進路関係では例年以上の有名大学への複数合格を勝ち取りました。また、生徒校則の改訂を生徒と教員が協働してこの一年間で取り組み、令和六年度より新しい校則で学校生活をスタートしました。生徒会や委員会などの特別活動では、数年前より行っている地域清掃やゴミ拾いなどの地味な取り組みを、地元企業様より賛同をいただき、文化祭での資源ごみの再生への協力やスポーツゴミ拾い（スポごみ）の開催につなげました。

そして、生徒会の提案で、大手コンビニエンスストアの自動販売機の導入をし、軽食の購入がいつでもできるようにしました。部活動も例年通り盛んです。全国大会の出場など顧問をはじめ、生徒たちが大きな目標を持ち努力しています。その結果、県内の公立私立高等学校で令和五年度「神奈川部活ドリーム大賞」準グ

ランプリを受賞しました。文化部も盛んに活動しています。その中でも和太鼓部の地域貢献活動の感動をあたえる取り組みや、理科研究部の名誉ある文部科学大臣賞受賞がありました。特定外来生物クリハラリス（タ

イワンリス）の分布調査や食性の調査で第五七回全国野生生物保護活動発表大会での受賞です。文化部も頑張った一年となりました。次に卒業生の活躍としては、本校初のプロ野球選手が誕生しました。令和三年度卒業生の金子功児さん（埼玉武蔵ヒートベアーズ所属）が令和五年度ドラフト会議育成四巡目で埼玉西武ライオンズに指名され、現在、同球団でプロ選手として活躍しております。

一軍選手の仲間入りが叶うように応援したいと思えます。

さて、学祖山崎弁栄聖者の意志により一〇五年前に創立し、「智慧と慈悲をもって明るく幸せな社会の実現に努める人間を育成する」という建学の精神を基本にしながら、教育活動を続けております。心豊かな人間性を有し、社会の発展に貢献できる人材の育成に力を注いでおります。卒業生の皆様の社会におけるご活躍や御貢献は、在校生や教職員の誇りでもあります。生徒一人ひとりの人生が心豊かなものになるために、今後とも生徒、保護者の皆様から信頼され、卒業生の皆様や地域の皆様から愛される学校を目指し努力を重ねて参ります。

今後も皆様の期待に添う活動を心掛けて参ります。どうぞ後輩の活動を応援していただくとともに、今後とも学園発展のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

末筆ながら、光友会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



令和五年度 第五十七回
全国野生生物保護活動発表大会
文部科学大臣賞受賞

環境省、日本鳥類保護連盟主催、文部科学省、林野庁後援の第五十七回全国野生生物保護活動発表大会が、十一月二十九日に環境省二十二階の会議室において開催され、光明学園相模原高等学校理科研究部が「STOP クリハラリス」特定外来生物の分布を抑えるために」という活動テーマで発表し、文部科学大臣賞を頂くことができました。

理科研究部では、二年前からこのテーマでの活動に取り組んできました。クリハラリスはタイワンリスとも呼ばれ、神奈川県をはじめ、全国数か所で分布域を拡げている国指定の特定外来生物です。日本国内では、一九五一年に台湾から人の手によって伊豆大島に移入され、飼育カゴから逃げ出して野生化し、伊豆大島特産のツバキの樹を食害してしまうようになりました。その後、神奈川県江の島にある植物園に伊豆大島から移入され、伊豆大島同様に、カゴから逃げ出し、野生化してしまったことで鎌倉を中心に神奈川県、東京都に分布域を拡げています。鎌倉の市街地では、クリハラリスに観光客が餌を与えている光景が見られるようになっていきます。

県東部でのクリハラリスの分布個体数は多く、市区町村単位での捕獲駆除が行われています。県西部の丹沢山地周辺には、日本在来のニホンリスが生息しており、今後、県東部から西部へクリハラリスが侵入すると、ニホンリスとの競合が起こる可能性があります。ニホンリスとクリハラリスの競合が起こると、ニホンリスよりも繁殖などにおいて有

利なクリハラリスが生息域を奪い、ニホンリスの減少が起こり、最悪の場合には、絶滅が起こります。特定の地域内に生息する生物の絶滅による生物多様性の低下は、他の生物の生態に重大な影響を及ぼし、我々人類の生活にも影響が出る可能性があります。



理科研究部

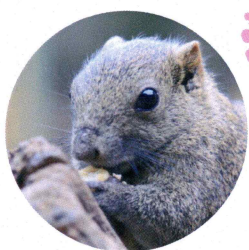
新型コロナウイルスパンデミックの様な新興感染症の脅威が再び迫ってくる可能性もあります。昨年、国際花と緑の博覧会記念協会主催のコスモス国際賞を受賞されたアメリカハーバード大学のフェリシア・キーン博士は、「多様性の高い生態系はさまざまな病原体の温床になる一方、そうした病原体に感染しない生物も多数存在することから、感染

症のリスクが総体として下がる場合が多い。」と提言されており、生物多様性の低下は、新たな新興感染症の発生を引き起こす可能性があることに触れられています。

理科研究部では、県東部へのクリハラリスの侵入を防ぐため、県東部と県西部に挟まれている県央地域において分布状況を調査し、行政などと連携し、分布拡大を防ぐ活動に取り組んでいます。

この度の大会で、審査員の先生方からは、「生物研究の基本であるフィールドワークを地道に行い、行政や大学、研究者との協同活動として取り組まれていることが評価された。」と伺いました。

今後も、身近な環境問題としての活動を継続していきたいと思えます。(顧問 下口直久 先生)





令和五年度高等学校における部活動の大会結果を報告させて頂きます。

○関東大会

- *陸上駅伝部
南関東1500M予選
1名出場 8着
- *空手道部
男子団体組手 4回戦 5位
女子団体組手 3回戦 5位
女子個人組手 3名出場
- *柔道部
男子団体 1回戦
- *新体操部
男子団体競技 準優勝
女子団体競技 16位
- *男子個人競技5名出場1名準優勝
- *男子ソフトボール部 ベスト4
- *テニス部
男子シングルス 1名出場

○関東選抜大会

- *陸上駅伝部
5000M競歩 決勝
1名出場 5着



- *柔道部
男子個人 4名
- *陸上競技部
女子砲丸投げ 1名出場 25位

○関東私学大会

- *女子ソフトボール部 2回戦

○全国高等学校総合体育大会

- *女子ソフトボール部 1回戦
- *空手道部
男子団体組手 準々決勝 5位
女子団体組手 3回戦
男子個人組手 1名出場
女子個人組手 1名出場
- *柔道部
男子個人 1名出場
- *新体操部
男子団体競技 第6位
男子個人競技 1名出場
- *男子ソフトボール部 5位

○全国私学大会

- *男子ソフトボール部 9位

○全国高等学校選手権・選抜大会

- *空手道部
男子個人組手 1名出場
女子個人組手 1名出場
女子団体組手 1回戦
- *新体操部
男子団体競技 第9位
- *男子個人競技 1名出場7位入賞
- *男子ソフトボール部 2回戦

○第57回 全国野生生物保護活動発表大会

文部科学大臣賞 受賞

○かながわ部活ドリウム大賞

準グランプリ

本校における令和5年度の全国大会出場実績や学校全体で部活動が盛んであることから、神奈川県教育委員長より表彰を頂きました。また、部活動単位でも表彰頂きました。

- *空手道部
かながわ部活スポーツ賞
- *和太鼓部
かながわ部活文化賞

光友会活動報告

令和五年度の光友会の活動をご報告致します。

①令和五年度 入学式参列

令和五年四月九日。高等学校第一アリーナにおいて入学式が挙行されました。五年度の入学生は三九六名です。本会会長も来賓としてお招き頂き、期待に胸を膨らませている新入生の門出を祝福させて頂きました。



入学式

②令和五年度 定例総会

令和五年度月に高等学校の多目的会議室において、令和五年度の総会を実施致しました。令和四年度の事業報告、決算報告、会計監査報告が行われ、承認を頂きました。また、令和五年度の事業案、予算案の承認も頂きました。令和五年度の役員改変においても承認を頂きました。



③全国高等学校野球大会 神奈川県大会応援

夏の全国高等学校野球選手権神奈川県大会は、七月八日より一回戦がおこなわれ、期末試験と重なってしまつたため有志での応援となりました。本会より全国生徒教職員の皆様に、今年度も応援グッズといたしまして、マフラータオルを寄贈させて頂き、ご支援をさせて頂きました。

④令和五年度 懇親会

令和五年十一月十八日。相模原市のアドマニーにおいて、懇親会を開催致しました。コロナ禍で実施できておらず、約五年ぶりの開催となりました。学園からは、長澤博文理事長、天野雅秀校長のご臨席を賜りました。



光友会懇親会

⑤第五十四回 光明祭

令和五年十月二十八日、二十九日に第五十四回光明祭が開催されました。光友会といたしましたは、高等学校の食堂をお借りして無量光寺の四季の写真を展示致しました。今年度も多くの卒業生にご来場、ご協力頂きありがとうございます。



光明祭光友会展示コーナー

⑥和太鼓部定期発表会 吹奏楽部定期演奏会

和太鼓部は、令和五年十一月五日に相模原市民会館において第二十四回定期発表会を実施しました。

また、吹奏楽部は令和六年三月十六日に本校視聴覚室において、第三十二回定期演奏会を実施致しました。本会の役員も鑑賞させて頂き、部員の皆様の頑張っている姿をみて、元気をもらいました。

⑦第六十九回 卒業式

令和六年三月一日に第六十九回卒業式が挙行されました。卒業生の数は四六四名でした。新型コロナウイルスも落ち着きを見せ始め、ご来賓の皆様にも参列頂ける卒業式となりましたので、本会の会長も参列をさせて頂きました。式典では、卒業記念品の贈呈もさせて頂きました。皆様の益々のご活躍を祈念しております。



吹奏楽部定期演奏会

第69回 卒業式



編集後記

日頃より、本会の活動にご支援を賜りまして感謝申し上げます。

数年間続いた新型コロナウイルスも五類に位置づけられ、高等学校でも様々な行事が再開されました。文理コースの語学研修はカナダで実施し、総合コースの修学旅行の行先もオーストラリアに戻り、五年ぶりに海外の研修を実施致します。そういった活動の中で、生徒たちの活気も戻ってきたように思います。

光友会の活動においても、懇親会の再開や、文化祭での展示などが様々な部分で活動を再開することが出来ました。会員の皆様との交流も数年ぶりとなり、活動の盛り上げて頂きました。

令和六年度におきましては、卒業生の皆様にも更なるお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

お問い合わせがございましたら、高等学校光友会担当の板垣までお願い致します。

